

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年11月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670300526号
法人名	有限会社鹿屋介護サービスセンター
事業所名	グループホーム田園
所在地	鹿屋市祓川町5369番地1 (電話) 0994-40-3151
自己評価作成日	平成23年11月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所内はバリアフリーになっており、車椅子でも台所以外は移動できるようにしている。風呂場の浴槽は介護がし易く安全に入浴できるように、浴室の真ん中に浴槽を設置し十分な浴室の広さを確保している。庭は芝生を植えて、自由に歩けるようにしている。又、災害時に直ぐに逃げられるように、吐き出しの引き戸になっている。建物は軽量鉄骨の構造でスプリンクラーの設置がされており、災害時にはボタンひとつで消防署や職員に知らせが行く。利用者は生活において、自分のペースで生活できるように、消灯時間はあるが、自分のテレビ等自分の部屋で自由に見れる。但し他の人の迷惑にならないように夜間はイヤホンを使っている。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年12月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿屋市郊外の、のどかな田園地帯に建てられており、四季を感じながらの日常生活や散策にも最適の環境にあるグループホームである。ホーム敷地は広く、ときには地域の方々や家族を交えての「ふれあい祭り」や棒踊りの場に活用されている。現在、男性職員が多く、個別の外出支援や病院受診、ホームの行事などでおおいに力を発揮している。利用者全員で出かける外出も多く、お弁当持参の季節の花見や遠足、ファミリーレストランでの外食、地域行事の見学や県下周駅伝の応援など、出来るだけホームに閉じこもらない生活を支援している。また、個別の外出支援として、墓参りや買い物、美容室、外食や地域のグラウンドゴルフへの参加など個々の希望や趣味・特技を引き出しながら支援している。単独のグループホームのため、安全対策にも力を入れて、スプリンクラーの設置や避難訓練を地元消防団員や近隣住民と行うなどして万全の対策がとられている。今後は更なる質の向上に向けた職員育成と家族とのより深い信頼関係の構築に意欲が伺える。歌うことの大好きな利用者が多く、カラオケに合わせて元気な歌声が聞こえてくるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を作り、毎朝の申し送りの時、夜勤者日勤者で唱和して、理念の共有と実践に努めている	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を、職員全員で話し合っ作成している。毎朝夕に理念を唱和して理念の共有と実践につなげている。理念は玄関、ホール、事務所に掲示してパンフレットにも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	消防訓練には近所の方に参加してもらおう。又、交流をふかめるために、付近の方々に来てもらうためにふれあい祭りとして、焼き鳥や焼きそば、カレーなどを出して交流会をした。	町内会に加入しており、地域のお祭り見学やグラウンドゴルフに参加している利用者もいる。また、地域の棒踊り連がホームの庭でも踊ってくれる。ホームの「ふれあい祭り」には近隣にチラシを配り、参加を呼び掛けるなど積極的に地域交流に取り組んでいる。学生の実習の受け入れやボランティアの受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方で認知症の方の相談があれば施設内見学をしていただいたり説明等をしているが、こちらから積極的に説明会等はしてない。また、待機予約という形で協力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、住民代表、町内会長、消防団長、家族代表、市の職員等に参加していただき、施設の行事や利用者の状況などの説明などして、ご意見をうかがって、それを今後のサービス向上に活かしている。	運営推進会議は町内会長や地域住民代表、消防分団長、家族代表、そして行政の参加を得て2ヶ月に1回定期的に開催している。行政や地域からの情報が得られ、ホームの行事、状況報告などが行われている。	

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当の高齢福祉課の職員とは何か分からないこと等相談したりして、協力を頂いている。	日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については研修を毎年交代で、管理者を初め介護職は受けるように指導している。また、現在身体拘束はしていないが、玄関の施錠はしていなかったが新しく入所された方が、玄関からいなくなり、近所の方に保護されたことがあり、不穏の時はしている。	拘束のないケアの実践に取り組み、日常の中で気づいたことはその都度職員に話をして意識付けを行っている。日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等について、毎年職員には研修に行かせ、虐待防止の勉強をしてもらっている。また、身体拘束はしていない。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については管理者は研修を受けて、勉強している。現在後見制度を利用している方は施設にはいない。必要な方が出てきたらお手伝いしたい。		

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は必ず、重要事項、運営規程、契約書、必需品等の説明等を時間をかけて読み上げて理解納得してもらっている。疑問点や質問等に答え、解約や改定なども家族利用者に説明印鑑などをいただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年2回して、毎月近況報告書を出し、面会の時等も利用者様のことなどを説明している。要望等あれば出来るだけ対応できるように努めている	面会時や電話連絡時、担当者会議などで家族から意見や要望を聞き出すようにしている。また、年2回の家族交流会時にホームからの報告や意見交換を行っているが、なかなか、意見や提案が得られないのが実情である。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。	今後はより深い家族との信頼関係の構築に向けて、気軽に意見要望を表せるような雰囲気作りと工夫に期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼の申し送りや毎月の職員会議などで、職員の意見を聞き介護に反映している	毎朝夕の申し送りで職員は情報を共有している。また、毎月、職員会議で意見交換や話し合いを行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は毎日施設に来て、管理者含め職員の勤務状況などを把握しており、経営状況を勘案して、出来るだけ職員の意見や提案を聞き運営に活かしている。		

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会などは施設に来た研修案内は全て職員に公開して、参加したい研修があれば、研修費等援助しており、個人と施設全体の介護力アップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他の施設の方の見学等積極的に受け入れており、当施設で使っている研修のDVDも貸したりしている、又他の施設もみせてもらったりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所されたときは、本人の希望等を聞き、本人の必要とすること等を把握することに努め、本人が安心して暮らせるように支援している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族のいらっしゃる方には、必ず家族の希望や本人の望み不安等、又得意なこと不得手なこと等、お聞きして、介護に活かし信頼関係が持てるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>アセスメントをとりながら、本人のできること出来ないことを把握して、こちらができることできないことを説明し、家族の協力をもらえるところは頂き、本人優先の支援が出来るか見極める</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人がここが自分のなじみの家と思えるような信頼関係を築くため、職員がいつもの馴染みの人となり、安心して生活できるように話を聞いたり雑談したり支援したりしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の中には毎日面会される方や4～5日置きにくる家族などあり、病院受診や外出など、家族にお願いできることは頼み、家族と共に支えていることを家族に理解してもらっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が希望すれば、馴染みの店やなじみの美容院や床屋などにつれていく、また家族の協力でなじみのところへの遊びにも行ってもらっている。	個々の希望により、買い物や行きつけの美容院やお墓参り、外食などこれまでの生活を維持できるように外出支援を行い、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	面倒見の良い人を介護度の重い方の側にしたり、仲の良い人を隣にしたり、お互いが孤立しない関係で支えあっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在も契約が切れている方で家族のない支援を必要としている方の、フォローをボランティアでしている。相談があれば支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向や希望等聞きだすように努め、本人の意向に添えるように出来るだけ努力している。困難なことは検討して、担当者は勤務時間以外にも本人のためにうごいている。	何をするにも、本人の意思確認をしてから行うように心がけている。会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情や言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントや情報提供書などを利用して本人の生活歴を出来るだけ把握し、足りない所は日々の生活の中で、馴染みの関係をつくり、自然に聞きだせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	情報提供書の利用や日々の生活の中で、本人の好きなことや、嫌いなこと、出来る事出来ないことなどを把握して、支援に活かしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活等を職員会議や毎日の申し送りで話し合い、家族の意見等聞きながら、介護計画を作成している。	個別支援として、これまで本人が通っていた場所への外出支援や趣味の継続など、サービスに取り入れている利用者もおり、本人や家族の意向や希望に沿った、個別性のある介護計画を作成している。毎月のモニタリングと定期的（3ヵ月）な見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日々の記録を毎朝のミーティングの中で話し合い、情報を共有して、介護の見直しの必要な場合は、個別の計画を見直し実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況や又家族の要望で外での食事や、庭での食事、お茶など、また本人の希望による特別な食事の提供、美容院や理容店の利用など柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の町内会の催し物や他の施設の催し物等への参加など、本人の心身の状況に応じた暮らしを出来るように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診は入所時に家族や本人のかかりつけ医を聞き、その旨対応している。又、緊急時は近くの協力医療機関の受診が受けられるように入所時に医療機関への情報提供をしている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診後は家族に随時報告している。	

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホームには看護師資格者がおり利用者の体調の変化には対応している、またかかりつけの病院へも直ぐ相談できるようになっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院の際は、情報提供書を病院へ提供して、治療や看護に役立つように努めている。また定期受診時には利用者の体調の変化等相談して情報の提供に努め、体調改善に役立つケアが出来るようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ターミナルケアの対応等は、入所時に説明をして施設で出来る事の限界を理解して頂いている。重度化については、施設で出来る限りの対応しており、家族にも説明して情報を共有し病院との連携を計りながら支援している。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時に説明して同意書を得られている。職員も方針を共有してホームで出来る限りの最大限の支援に取り組んでいる。消防署主催の救命救急の講習に職員は交代で参加して、知識と技術を身につけている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変時は管理者への連絡、管理者から家族、病院への連絡体制を取っている。事故発生時も同様である。また、連絡が取れないときは、施設長へ連絡する。</p>		

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練等定期的に消防署と近所の方を交えて行って、非難の方法等全職員身につけている。新採用の職員にも早い時期に訓練に参加するようにしている。又、緊急災害時ボタンひとつで全職員連絡できる。</p>	<p>夜間想定で年2回避難訓練を行っている。近隣住民や地域の消防分団員の方々とも行っており、緊急連絡網にもすぐ近くの分団員が組み込まれているなど、地域との協力体制が築かれている。スプリンクラーや自動通報システムも設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は個室になっており、その人のリズムに合わせた生活をしてもらっている。言葉使いもその人の生活歴に合わせた誇りを傷つけない言葉掛けをしている。	社会的地位や生活歴などを考慮し、個々に応じた声かけや否定的な会話にならないように配慮しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望にあわせた、生活をしていただくように、食事など本人の希望を聞いたり、話しかけによって自己決定できる支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の食事時間など各人に合わせるなど、又、本人の生活のリズムを壊さない程度に余裕を持たせたものになっている。希望がある時は外出等職員が付添い出かけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行為などの服は希望者は本人に服を選んでもらっている。また、美容院なども本人の希望の店に連れて行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食は職員と一緒に食事をしている、又、野菜の皮むきなどの手伝いなどや出来る範囲でもらっている。気の向いたときは食器洗いなどしてもらっている人もいる。	個々の力量に応じた準備や片づけなど職員と共に行っている。また、いこ餅作り・餅つき・梅ちぎりなど利用者から教わりながら行っている。本人の希望による個別の夕食支援や全員で出かけられる夕食、弁当持参での季節の花見なども楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量水分量は毎回記録しており、本人の好み等把握して、嫌いな物は他の物で栄養が取れるように工夫をしている。嚥下状態に応じて、ミキサー食トロミ食を提供している人もいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は自分からされる方もあり、口腔ケアの声掛けでされる人、各人に応じて必要な人は介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意便意など、個人によって千差万別であるが、その人の動作仕草で判断したり、定期誘導したりして、トイレ介助や支援をしている。	日中は全員、職員の声かけ誘導でトイレでの排せつを支援している。自立している利用者もおり、継続できるように支援している。ホームに入居してからトイレでの排せつが可能になった利用者もおり、職員の励みにもなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食事などや水分量をチェックして、運動等していただくが、車椅子の方や、身体運動能力もあり、便秘になるかたもある。医師の指示で便秘薬などを使用することもある。		

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴日は決まっているが、行事などあればそちらを優先して、翌日に入浴してもらっている。また、体調不良や希望があれば、本人の好む日に入浴してもらっている。	希望があれば毎日の入浴も可能であり、個々に応じた入浴の支援を行っている。家族が温泉に連れて行く利用者もいる。入浴剤を使用して気持ちのいい入浴を楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯は21時になってはいるが、テレビを見るなど、個人の好みを優先している。又、昼寝も夜間の睡眠の妨げにならないように個人に合わせたものとなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	血圧降下剤や利尿剤等副作用のある薬もあり、バイタルチェックして、医師へ連絡をするなど、本人の体調変化等の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の洗濯物たたみや天気の良い日は気分転換のドライブをしている。四季を通じた、遠足や祭事や行事等への参加、園の庭での焼肉パーティなど、楽しまれている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的には園の近くを散歩したりして、田んぼや畑の様子を見て四季を感じてもらっている。希望の人は、お墓参りやお寺参拝など職員や家族と出かけたりされる。	日常的に散歩に出かけている。また、弁当持参での季節の花見や遠足、外食、地域行事見学などにも出かけている。個別支援として美容室、買い物、墓参り、外食、グランドゴルフなど個々の希望に沿った外出支援も行っている。	

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理が出来ない方が殆どだが、お財布の必要な方にはお金を入れ持たせており、必要な時は財布から本人に出してもらったりすることもある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙のやり取りよりも電話が主である。電話は遠くの家族から来る人もあり、又自ら電話をかける希望をされることもあるので、電話できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間兼ホールは季節によって花を飾り、トイレも居間の左右と風呂場隣にあり、利用しやすいように配置している。ホールの広さや通路も車椅子で通れるような広さである。又庭に出れるように吐き出しの引き戸になっている。</p>	<p>共用空間は広く、大きなテーブルとソファのコーナーがある。通路、トイレ、浴室など全体的に広々とした造りで、車いすでも充分に対応できる。リビングから直接庭に出られるので、開放感がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールの中は空間が限られており一人になるには居室へもどられる。気の合った人同士は席を近くにしてお話できるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム田園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は使い慣れた物や家具等持ってきている方も居られ本人の希望に添うようにしている。</p>	<p>入居の際に、使い慣れたものやなじみの物品を持ち込んでもらえるよう家族に説明している。テレビやラジオ、お気に入りの飾り物などが持ち込まれ、居心地良く過ごせるように工夫されている。読書好きな利用者の居室にはたくさんの本が持ち込まれている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>壁には手摺があり、トイレは分るようにトイレ表示をし、トイレ内も人が入ると自動点灯し、手摺など、工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム田園

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム田園

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="checkbox"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="checkbox"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="checkbox"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない